

令和8年度 学校運営方針

1 教育目標

(1) 教育目標

校訓	自 学	めざす 生徒像	目的をもって自ら学ぶ生徒
	礼 節		礼節をわきまえ他を思いやる生徒
	先 施		先施の心で実践できる生徒

(2) 経営方針

教育方針 「自ら学び、考え、行動する生徒の育成」

全校生徒、教職員一人一人が多様性を認め合いながら一丸となり、「先施の心」を柱に、本校の教育方針である「自ら学び、考え、行動する生徒の育成」を目指した教育活動を推進する。

ア 生徒自らが考えて意思決定する指導の充実を図ることで「生きる力」を育み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成を図る。

イ 保護者・地域とともに、率先垂範・師弟同行の精神を携えた「チーム平洲」としての連携を推進する。

ウ 生徒一人一人をきめ細やかに理解して「先施の心」を育てることにより、活気あふれる学校づくりを推進する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 将来「自走する学び手」となれるよう、目的をもって自ら学ぶ生徒を育てる。

- ・「主体的・対話的で深い学び」を目指す視点から、授業改善を継続する。
- ・生徒が安心してつながることのできる「協働的な学び」をデザインする。
- ・生徒が主体的に「分かる・できる・知る喜び」が積み重ねられる、「個別最適な学び」を意識した授業づくりに努める。
- ・実態に合わせた指導を目指し、「生徒の視点」に立った指導・支援を意識する。
- ・生徒の成長段階に合わせた計画的・系統的なキャリア教育を通して、自己決定に自信がもてる進路学習を推進する。

イ 校訓「礼節」を基本にした、気持ちのよい挨拶と規律ある学校生活を実践する。

- ・生徒はもちろん、保護者、地域や関係諸機関の方と連携できるよう、まず学校から他を慮る丁寧な言葉遣いと誠意のある行動に努める。
- ・迅速かつ組織的に行動できるよう、教職員一人一人が危機管理意識とスキルの向上に努める。
- ・支援を要するなど多様な生徒の心に寄り添えるよう、組織で対応する。
- ・教育活動の様子やその成果を継続的に情報発信し、家庭や地域との信頼関係や協働体制を築く。

ウ 生徒会活動・行事等を核に、リーダー育成と活気あふれる学校づくりを行う。

- ・縦割り活動を柱に、学校・学年行事等を通して系統的なリーダー育成を図る。
- ・積極的な体験活動を推進して「先施の心」を体感させ、自らを高める経験を積ませる。
- ・生徒一人一人の良さや課題をきめ細やかに見取ることで、心に寄り添う生徒指導を行い、生徒が安心できる環境を整える。

エ 質の高い働き方を目指し、お互いに支え合いながら、心身ともに健康な状態で教育活動に取り組むことのできる職員集団を目指す。

令和8年度 学校運営の重点努力事項

<p style="text-align: center;">目的をもって 自ら学ぶ生徒</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「分かる・できる・知る喜び」を積み重ねる授業づくりを目指し、模擬授業の実施、生徒との振り返り、年間を通したアンケートで検証する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「生徒自ら考えて意思決定する」機会を設けて支援する。 ・生徒が楽しい授業、生徒がつながる授業をデザインする。 2 主体的に積み重ねられる「個別最適な学び」を意識した指導の工夫・改善に努める。 <ul style="list-style-type: none"> ・授業力は人間性と技術の組み合わせと考え、向上を目指す。 ・生徒が自学のできる学習環境づくりについて充実を図る。 3 特別支援教育を核に据えた個への指導の推進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの視点など、「生徒の視点」に立った学習計画を意識し、資質・能力を身に付けさせる。 4 生徒が自信や自己有用感もてる進路学習にできるよう相談活動や情報提供等、保護者・地域校との連携に努める。
<p style="text-align: center;">礼節をわきま 他を思いやる 生徒</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「礼節」は範をリアルで示し、リアルの生活で実践させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒には丁寧な言葉を使う。生徒の思いを丁寧に聴く。 ・職員間や小中間の組織的連携を重視する。 2 生徒が自らの行動を振り返ったり、今後の行動を考えたりするために、保護者や周囲の理解を図る。生徒を支えながら一緒に考え、生徒の学びにつなげる出発点にする。 3 日常における安全への意識を高める教育活動とともに、初動の重要性を意識し、組織として対応する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の人権に配慮した指導・支援をするため、SC、SSW等も含めた職員間の情報共有に努める。 4 学校ホームページや学校だよりの活用はもちろん、日常の心配事は保護者との情報共有を迅速に行う。
<p style="text-align: center;">先施の心で 実践できる生徒</p> <p>先施の心とは、 「自分から先に行く」 待つのではなく自分 から働きかける心 「自分から進んで譲 る」持っている力で惜 しみなく協力する心</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 リーダー・フォロワーとして個性を認め合い、学び合ういじめのない学校づくりを進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・目的・見通し・使命感をもって、生徒の活躍する場づくりを計画的に行う。 ・自治活動により学校生活を見直し、自己有用感や愛校心を育む。 ・毎週の生徒指導部会による、いじめ対策等の情報共有と初期対応を重視する。 ・学級担任による情報モラル教育の実践を継続する。 2 校外・地域・福祉・交流活動等への、ボランティア参加の推進を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力や外部講師を活用して健全育成を図る。 3 不登校傾向にある生徒と家庭について、迅速な情報共有と対策を組織で行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週の教育相談部会を中心とした情報共有と初期対応を重視する。 4 業務の改善とチームワークを大切にするとともに、勤務時間を自覚したセルフマネジメントを促す取組を継続する。